

第2部 取組み発表 2) 地域包括ケアの地区展開

世田谷区地域包括ケアシステム

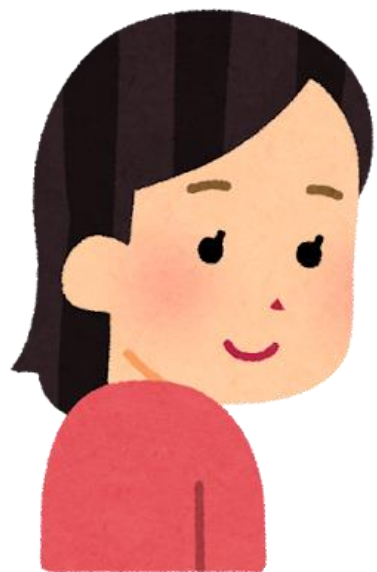
開始からの10年を

振り返る

～参加と協働の地域づくり～

令和7年11月19日(水) 14:30～

於:玉川せせらぎホール



# 砧まちづくりセンター (きぬた福祉の相談窓口)



砧まちづくりセンターは住宅街の中にあってあまり目立たないので「きぬた福祉の相談窓口」という大きなバナーを掲げています

# 福祉の相談窓口モデル地区

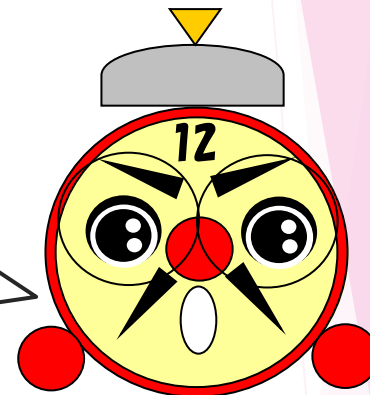
平成26年当時…



世田谷区でも「地域包括ケアシステム」の地区展開を図ることになり、先行してどこに**モデル地区**として設置するか決めることになったんだけど…

広さや人口構成など  
すべてにおいて  
バランスのいい  
**砦地区**にしよう！

こんな感じで全区に先駆けてモデル地区として設置されたのが**砦地区**なのです。



えへん。



「あんしんすこやかセンター」としては、在宅介護支援センターを経て、平成18年から開設されてはいたものの、地区展開に伴って三者連携として砦まちづくりセンターの建物で同居を開始。



さて、そんな感じで世田谷区の  
先陣を切って始まった  
新生「砦あんしんすこやかセンター」ですが…

当時は創生期ならではの  
苦労もあったのでは？



住まい

## 安心して暮らせる環境

医療

## かかりつけ医・訪問診療

**医療  
介護支援**

## 地域の支え合い

# 介護

## 訪問介護・施設サービス

## 相談・連携

**地域包括  
支援  
センター**

**連携調整**

## 多職種・他機関が協働する仕組み

[illegible]

# 地区版地域ケア会議とその役割

世田谷区が目指す「参加と協働による地域づくり」への重要なプロセス

## 課題をどうするか

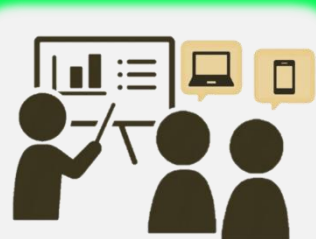
ステップ  
**01**

課題の  
「見える化」



ステップ  
**02**

課題の  
「共有」



ステップ  
**03**

課題の  
「抽出」



ステップ  
**04**

「資源開発」と  
「協働」



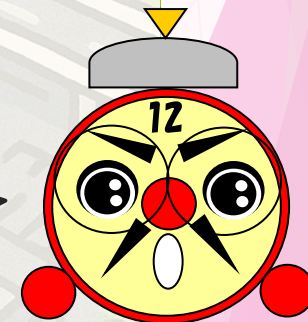


# 地区版地域ケア会議の役割を用いた事例

## ひまわり喫茶

大蔵住宅の全面建て替えが決まって、  
全員が転居しなければならないとなった  
場面での住民への支援策

困っている人はたくさんいるはずなのに、みんな「困ってない」って言うんだ。どうしてだろう？？？



## 課題の「見える化」



実態把握の  
ために  
訪問を実施

建て替えで困っている  
ことはありませんか？

う〜ん、  
特にないわねえ

引っ越しとかでも困った  
ことはないんですか？

だって、私  
引っ越さないから

**全員引っ越すんですよ！**

見えてきた  
課題

まず、引っ越すという実感が無い。



# 課題の「共有」



資料 3

まちセン

社協

あんすこ

実態把握のための訪問で  
見えてきた

「引っ越す実感がない」  
という現状。

これを引き起こしている  
ものはいったい何なのか？



きぬた福祉の相談窓口の  
基本的な考え方

それぞれの得意な分野を活かし、  
そうでないところは補い合う

きぬた福祉の相談窓口

連携会議で共有する

まちセン

社協

あんすこ

※現在はここに児童館が加わって四者で連携しています

# 課題の「抽出」

それぞれの得意な分野を活かして、現状を分析し、情報を共有しながら課題を抽出する。



## 社会資源不足

「高齢者のみの引っ越し」というニッチな案件を取り扱う専門業者が絶対的に足りない。

まちセン

社協

あんすこ

1

2

3



## 情報不足

「全面建て替え」という情報が行き渡っていない、もしくは認識していない。

## 精神的不安

高齢にもかかわらず、世帯によっては初めての体験を、ひとりで行わなければならないという精神的ストレスがある。

# 課題の「抽出」



まちセン

社協

あんすこ

## 抽出した3つの課題

**1 情報不足****2 社会資源不足****3 精神的不安**

きぬた福祉の相談窓口の  
基本的な考え方

それぞれの得意な分野を活かし、  
そうでないところは補い合う

きぬた福祉の相談窓口  
**連携会議で共有する**

どんな取り組みができるか  
知恵を絞る





## 大蔵住宅の全面建て替え

## 「資源開発」と「協働」

ところがいざ取り組みをやってみると…



まちセン

建て替えで困っている  
ことはありませんか？う〜ん、  
特にないわねえ

心なしかどうにも口が重い感じ…。  
どうやら大人、しかも区役所の関係  
者が訊くと事情聴取のように感じる  
らしく、答えにくいご様子。

そこで、以前からいろいろと協力してくれてい  
る、管内の目黒星美学園中学高等学校(現:  
サレジアン国際学園世田谷中学高等学校)  
の先生にアイデアを求めたところ…

先生、なにか  
いいアイデアは  
ありませんかね？それならば、うちの子たち  
にインタビュー形式でアン  
ケートを取ってもらったら  
どうでしょうか？

このような感じで、学校の協力もいただき、ひまわり喫茶を始めてみることに。

# 「資源開発」と「協働」



当時の大蔵住宅の集会室に高齢者を何人か招いて、お茶を飲みながら和やかにひまわり喫茶を開催しました。

会場には関係者の大人が待機していて、質問などがあれば対応できるようにしました



いつから住んでいますか？

50年前よ

あなたおいくつ？

中3です

うちの孫より若いのね！

このまちの自慢は？

静かで環境のいいところかしらね

でも、もうお引越しですね

そうなのよ、何もわからなくて困るわ



まちセン



社協



大蔵住宅自治会



行政書士  
(ボランティア)



葬儀業者  
(片付け相談・ボランティア)



あんすこ



JKK



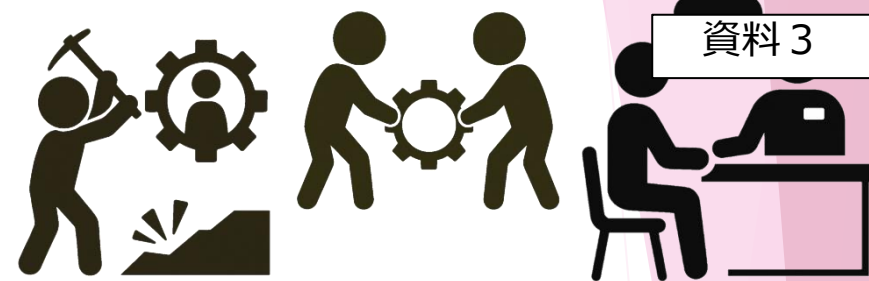
成城警察署



薬剤師  
(ボランティア)

ここまで来て、この発言が出てようやく自分が困っていると気づく↑

# ひまわり喫茶の取り組み



そうなのよ、引っ越しなの。  
でも引っ越しのことなんてわからないし、困ったわぁ…

建設当時から60年近く  
居住している高齢者単独の  
居住者がたくさんいる

ひとりではどうにも  
できない居住者も  
たくさんいる

こうした居住者に対し…

まずは困った点を自分で  
確認してもらうところから始める

個別にヒアリングを  
続けていく

こうした取り組みにより、引っ越しのサポートを進めていきました。



大蔵住宅の全面建て替え

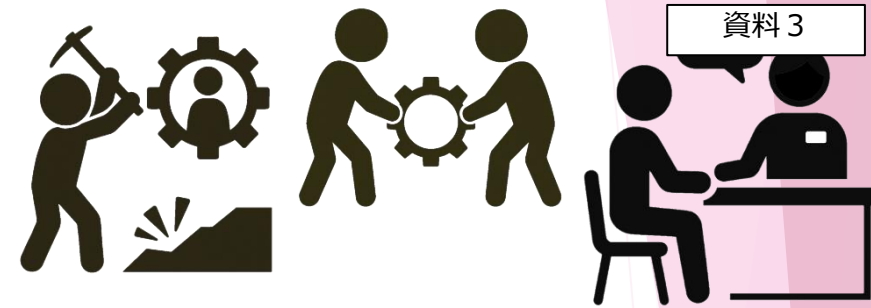
# ひまわり喫茶の取り組み

2年にわたり10回ほど繰り返し開催

コロナ禍で中断

残念！

限られた期間だったものの、たくさんの人のお役に立つことができました！



大蔵住宅にお住まいの皆様へ  
 砦まちづくりセンター、砦あんしんすこやかセンター  
 社会福祉協議会 砦地区事務局より

ひまわり喫茶  
 7月25日(火)  
 14:00~  
 大蔵住宅第一集会所にて

日常の生活の中で...いろいろな不安はありませんか？  
 そんな気持ちを、目黒星美学園中高校生のボランティアさんと一緒に、  
 お茶をしながら気軽に話せる会を企画しました。

メモリードさんのご協力のもと、不用品の回収をいたします。  
 写真・お守り etc. ちょっと自分では捨てにくいものがありましたら、  
 お渡しした袋に入れてご持参ください。  
 ※ご持参が難しい方は、取りに伺いますのであらかじめご一報ください。

粗大ゴミってどうやって  
 捨てればいいの？

何を処分すればいいか  
 決まっていない

書類がたくさんあって  
 分からない

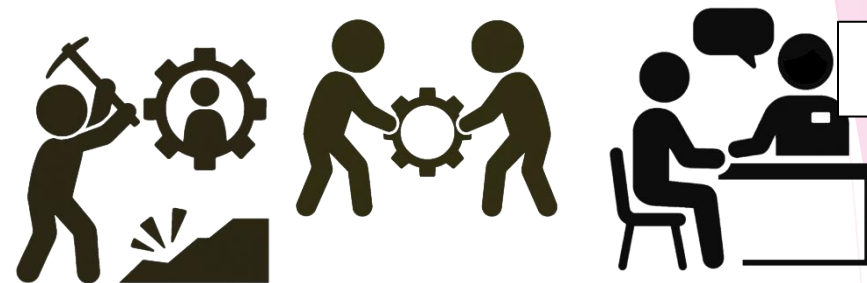
物が多すぎて困る

頼れる家族はいない...

主催：大蔵住宅団地自治会、大蔵住宅の今後を考える会  
 特別協力：目黒星美学園中学高等学校、㈱メモリード東京  
 お問い合わせ先：社会福祉協議会 砦地区事務局（宮崎・浅野）  
 080-9418-7736  
 または 03-3482-6711

当時作成した案内チラシ

# ひまわり喫茶の内容



**01** 高齢者の居場所づくりの一環として開催するため、大蔵住宅自治会と協働して企画。

**02** 目黒星美学園中学高等学校(現:サレジアン国際学園世田谷中学高等学校)の学生さんの協力により、高齢者へのアンケートのインタビューと合唱などの出し物を実施。

**03** 高齢者の困りごとを解決するために、関係機関やボランティアの多職種の方に協力してもらい、当日の会場に待機してもらった。



学生さんたちがインタビューをしてくれました



合唱の出し物をしてくれました。周囲には頼れる地域の大人が待機しています！

# まとめ

ステップ

01

課題の  
「見える化」実態把握の  
ための訪問

ステップ

02

課題の  
「共有」

連携会議

ステップ

03

課題の  
「抽出」

情報不足

社会資源不足

精神的不安

ステップ

04

「資源開発」と  
「協働」

ひまわり喫茶

ステップ

05

個別対応



まちセン

あんすこ

社協



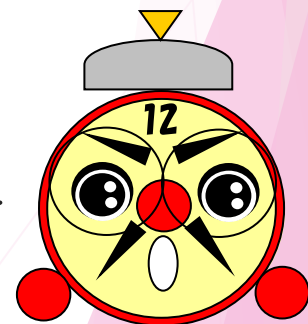
よくわかったこと。

みんなで

協力するってとても大事。

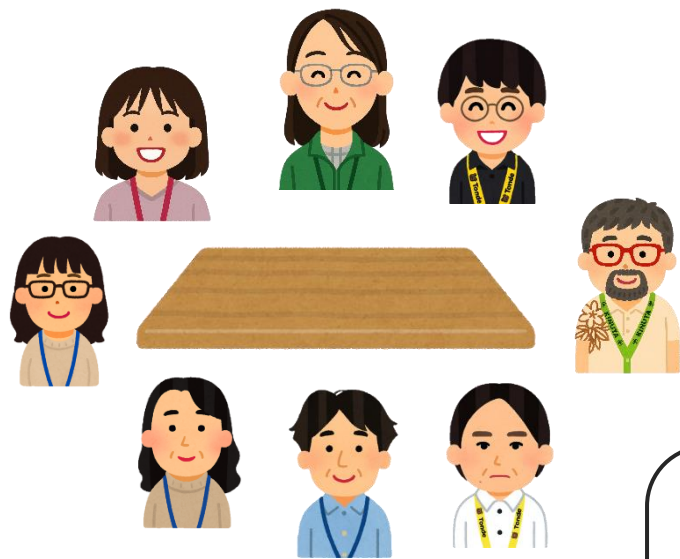
得意なものを持ち寄ってもらうだけでも、  
地区の大きなパワーになるのだ！

特に中学生・高校生の活躍なくしては  
成り立たない事業だったのだ！

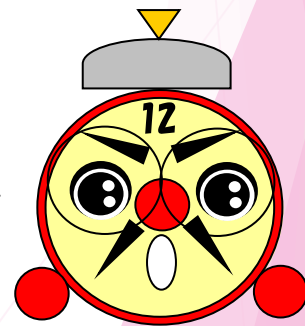


■ 取り組みを進める基本は…

# 四者連携会議での 情報共有



これもいろいろやりました！  
課題はいろいろと尽きないのです！



地区内での  
活発な情報共有

みんなの  
交流会



男性の居場所づくり  
孤独化の防止

試行錯誤は  
続くのだ



参加と  
協働の  
地域づくり

買い物支援

移動販売車の  
展開



見守り事業

子どもの見守り  
子育て世代の見守り  
高齢者の見守り

みんなを見守る取り組み





こうした福祉の取組みって…

ずっと同じことを

やってちゃダメ。



その時や状況に合わせて、臨機応変、創意工夫を大切に、これからも力を合わせて頑張っていきたいと思います！

きぬた福祉の相談窓口職員一同